

平成27年1月（第8回）教育委員会 会議録

1 開会及び閉会の日時

平成27年1月29日（木）午後9時30分～午後10時51分

2 場所

井波庁舎 301号会議室

3 出席委員

- ・教育委員長 渡邊 美和子・同職務代理者 河合 正登
- ・教育委員 岩井 透 ・教育委員 碓井 好彦
- ・教育長 高田 勇

4 説明出席者

- ・教育委員会教育部長 豊川 覚 ・教育総務課長 酒井 啓行
- ・生涯学習スポーツ課長 浦辻 一成 ・文化・世界遺産課長 山森 伸正
- ・井波総合文化センター館長 永井 巖 ・福野文化創造センター館長 岩見 文雄
- ・福光美術館副館長 富田 一 ・福光福祉会館長 湯浅 藤作
- ・中央図書館長 山本 一男 ・教育センター所長 榊 泰晴
- ・教育総務課副主幹 笠井 学 ・教育総務課副主幹 山越 哲也
- ・教育総務課主査 長谷 修司

5 傍聴人数

0人

6 会議の要旨

午後9時30分、委員長が開会を宣し、議事に入る。

1 前回会議録の承認

若干の訂正をして、全員が異議なく承認した。

2 教育長の報告

- ・1/11 平成27年南砺市成人式について
- ・市内小中学校のインフルエンザの状況について
- ・井口中学校新校長の発令について
- ・1/25～27 常陸宮賜杯第65回中部日本スキー大会について

3 協議事項

(1) 平成26年度3月補正予算要求概要について

各課長、館長、副館長から説明した。

委員長から可否を諮ったところ、全員異議がなく承認した。

(2) 南砺市井波総合文化センター条例施行規則の全部改正について

各館長から説明した。

委員長から可否を諮ったところ、全員異議がなく承認した。

- (3) 南砺市福野文化創造センター条例施行規則の全部改正について
各館長から説明した。

委員長から可否を諮ったところ、全員異議がなく承認した。

4 報告事項

- (1) 平成26年度教育委員会表彰候補者について
教育総務課長から説明した。

5 その他

- (1) 第11回南砺市社会教育推進大会について
生涯学習スポーツ課長から説明した。
- (2) 平成27年南砺市成人式の出席状況について
生涯学習スポーツ課長から説明した。
- (3) 常陸宮賜杯第65回中部日本スキー大会について
生涯学習スポーツ課長から説明した。
- (4) となみ野芸術祭について
文化・世界遺産課長から説明した。
- (5) 平成26年度南砺市学校教育研究大会について
教育センター所長から説明した。
- (6) 第52回全国中学校スキー大会出場者名簿について
教育総務課長から説明した。
- (7) 各館の催しもの等について
各館長・副館長から説明した。

6 今後の日程

次回教育委員会開催（予定）

日時 平成27年3月5日（木） 午後2時00分

場所 井波庁舎 301号会議室

7 議事

協議事項について

協議事項（2）（3）関係

- 委員 完全には統一できなかったということだが、具体的にできなかった部分はどんなところか。細かいところは良いので、大まかに説明してほしい。
- 事務局 井波文化センターの利用許可申請書に「申請者」とあるが、その下の「利用日」から「各施設名」までが全く違っている。井波は1日毎、ヘリオスは複数日分まとめて申請できる。井波でも数日間使うこともあるが、その時は1枚だけ書いてもらい事務局で使用日数分コピーをして1日毎の申請としている。それはシステムの関係上、納付書・請求書は1日毎に出す仕様となっており、1日毎に1枚の申

請書を提出する形をとっているため、その辺でヘリオスと少し様式が違う。それ以外の文言は、ある程度の統一がはかれたのではないかなと思う。

○委員 員 これについてはこれでよろしいか。承認

報告事項（１）関係

○委員 員 表彰式では、表彰の文面を全て読み上げるのか。結構な時間がかかると思うが、文面が皆違うから仕方がないのか。

○委員 員 本当は全文読み上げるのが良いのだが、スポーツ関係だと「優秀な成績～」からは皆同じなので以下同文とし、必ずしも全部読む必要はないと思う。

○事務局 局 毎年 11 月 1 日の市の表彰のように、受賞者の功績の一覧表を来場者に配布し、名前だけを読み上げて渡すような方法にすれば、時間はかからないのではないか。

○委員 員 推進大会は一つのイベントであり、表彰で功績を読み上げることも大事だと思うが、セレモニーとして長いと、その後の講演までに来場者が疲れるので、流れとしてはその方が良い。進行でも功績について触れられると思うので、それと被らないように言葉少なめに。

○委員 員 受賞者の表彰理由をわかるようにしてあげたいが、全部読み上げるのは大変だし見ている人も退屈するので、できれば司会に功績を読み上げてもらいたい。ただし、どれだけ時間がかかるかやってみないとわからないので、式典の進行具合の時間配分と合わせて検討してもらいたい。

○事務局 局 渡す時に全く読み上げないのであれば、時間の短縮にはなる。

○委員 員 名前だけは読み上げて渡しても良いと思うが、司会で名前と功績を読み上げ 1 人ずつ渡した方がスムーズな感じがする。

○委員 員 どのような形がスムーズに進行できるか、一度シミュレーションをさせてほしい。

その他（１）関係

○委員 員 開会挨拶は社会教育委員長ではなく、いつも教育委員長なのか。

○事務局 局 教育委員会表彰が前半にあるので、教育委員長となっている。

○委員 員 主催が教育委員会だからである。大会の教育実践発表も、去年は中学生を頼った内容だったが、主旨からいえばこれが本来の在り方であり、そうなると発表者も一生懸命練習してくると思う。発表時間は 2 組で 10 分だが、出入りを除くと実質 4 分程なので、できるだけ時間を確保してあげないと、発表者も充実感が無いのではないか。そのようなことから、表彰式ではできるだけ割愛することが望ましいと考え、先程の意見を申し上げた。せめて 7～8 分確保できれば、

- 生涯学習という視点からも、良い宣伝にもなる。
- 委員 社会教育の推進という本来の主旨から、表彰式は失礼にならない程度に無駄を省き、発表時間をもう少し確保できるよう、時間のシミュレーションをお願いしたい。この件はこれでよろしいか。
- その他（２）関係**
- 委員 各教育委員から、出席した地域の式典について感想をお願いしたい。
- 委員 利賀地域は女性４人だけであった。「南砺で暮らしませんか」のビデオは、本来の成人式のセレモニーではないのだろうが、それがセレモニーの一部になっている状況だったので、いかがなものかと思った。式典開始１０分前から流しておくなど、色々やり方もあったのではないか。
- 委員 平・上平地域は１６名の参加だった。大変おごそかで、成人者の謝辞も含めて、二十歳らしくない凄くしっかりとした大人になっているなということに感激した。かなりの方が将来地元に戻りたいと言っており、本当に有難いことと思ひ、印象に残る大変素敵な式であった。地元の方のコーラスもあり、それも式典に華を添えるという形でよかった。
- 委員 井口地域へ参加した。少人数の所ではあるけれども、完全に地域が一つになっていると改めて感じた。私の母親も１０年程教員をしていた地域であり、その事についてはずっと聞いていたので、改めて今でもそうなのだと思った。進行はスムーズで、市長のビデオメッセージもきちんと流れていた。「南砺で暮らしませんか」の印象については、少し長いと感じた。男性一人がもう社会人として近所に勤めている事がわかり、後はまだ学生ということだが、とりあえず参加してみたという感じではなく、全員が地域の中で自分はこうしたい、こうしているということを語り、自分というものをしっかりと表現できる子ども達だった。後は、小学６年生の時の担任の先生は、当時の画像をスライドショーとして振り返りながら見せてくれ、中学生の時の担任の先生は、当時の動画に音声や音楽を加え編集したビデオを見せてくれ、子ども達も恥ずかしいとか言いながらも当時を思い出し喜んで見ていた。それこそ学生時代含めて、地域で育ててきた子ども達ということ強く印象を受けた。本当に良い成人式だったと思った。
- 委員 福野地域へ出ていた。１３７名だけでも非常に整然と行われていた印象がある。二十歳にしてはとてもしっかりとした内容のスピーチであった。よくよく聞いてみると高校卒業してすぐに就職した若者の力強いメッセージがあり、感動した１シーンであった。それぞれの会

場で各教育委員も、そうした同じような思いを味わっておられるのではないかと思っている。

○委員 福光地域に出席したが、全体的にとっても良い成人式であった。謝辞は、こんなに素晴らしいことを二十歳になったばかりの人が言うのかというくらい、完璧な内容だった。あまりにも素晴らしいので、謝辞の後の一言では、謝辞にとっても感動したという内容を言わせていただいた。本当にしっかりしているという印象であったが、式典で楽しそうにしているところなど、やはり子どもらしい初々しさも感じられた。中学校が2校あるので、それぞれの代表者が実行委員として式典後の第2部を行っており、両校とも中学校時代の写真を色々加工して今時風に綺麗に仕上げた映像を映していた。吉江中学校側はそれを趣味か仕事にしているような人が制作した作品で、テレビの番組のように始まり、会場も大変盛り上がっていたが「冒頭のアレを成人式にやりたかった」とその後の実行委員の挨拶の中で言っていた。昔と違い、色々な部分で自分の持っているものを発揮する機会があるのだなと思い、今の時代の子どもの可能性を感じるとともに、成人者に活気があり、とてもよかった。「南砺で暮らしませんか」のビデオは長くて市長の言葉までであったが、式辞のビデオと、このビデオの中の市長のテンションが少し違って、どちらがメインなのかわからないような印象があったので、別のところで映像を流すか、式典前に先に流すかにしたらよかったと思う。福光は参加率が若干少なく、大きい地域だからと思うが、大きい所でも回収率が100%の所もあるので、それを考えると何故回収できなかったのか理由が少し気になる。

○事務局 日本語の案内しか発送していないため、外国人が多いこともあり、読めない場合には返信が来ず、確認も取れないという事情も関係している。中学を卒業した方には、追跡調査のような形で極力回答を得るようにしており、その結果として他の所は100%近くになっているが、どうしても連絡が取れない方もいるということである。

午前10時51分、議事が終了したので委員長が閉会を宣した。